

※Aコース（中核オペレーター早期育成）/Sコース（マネジメント層※リーダークラス含む能力強化）

No	科目名 タイトル	概要	対象者	講座日程			講師
				開催形式・会場	定員/回	受講料	
A1	安全感性向上講座	<p>「プラントにおける危険」の疑似体験、目撃体験により、危険予知能力や危険に対する感受性を磨き、安全感性を向上します。また、グループ討論で、チームミーティングやグループ活動等のコツを学びます。</p> <p>体験・体感を中心に、危険に対する感性向上をピンポイントに目指した現場体験型講座 ※2025年度から、A/Bコースに体験項目を分割して実施しています。 ※各コース1日×2日完結コースとしていますが、1コース毎の受講も可能です。</p> <p>Aコース（1日）※約10項目 体験1：滑り・転倒、重慶物の落下、腰痛防止 体験2：小配置、安全弁作動、ピンホール 体験3：静電気発火・フレームアラスタ、薬毒（別庄飛散） 体験4：ドリル巻き戻し装置 グループ討論：事例討論</p> <p>Bコース（1日）※約10項目 体験1：液漏、パキユーム 体験2：抜きれ巻き戻し（3種目） 体験3：ラダー昇降、遠隔禁止用器具（自由吊り体験・脚立転倒体験） 体験4：水蒸気爆発・粉塵燃焼体験 グループ討論：事例討論</p>	<p>①Aコース（1日） ②Bコース（1日） ・入社3年までの若手オペレーター ・安全体感未経験者 ・過去に当安全体験講座の受講経験のない方</p> <p>※現在、オペレーターではないスタッフの方も受講可能です。</p>	<p>A/B（各1日）×2コース 9:00~16:00（予定）</p> <p>1-A 2026年6月3日(水) ※台風接近の為開催中止 1-B 2026年6月4日(木) 2-A 2026年6月17日(水) 2-B 2026年6月18日(木) 3-A 2026年7月6日(月) 3-B 2026年7月7日(火) 4-A 2026年7月16日(水) 4-B 2026年7月17日(木) 5-A 2026年10月15日(木) 5-B 2026年10月28日(水) 6-A 2026年10月29日(木) 6-B 2026年10月30日(金) 7-A 2026年11月6日(水) 7-B 2026年11月6日(金) 8-A 2026年11月12日(水) 8-B 2026年11月13日(金) 9-A 2026年12月7日(月) 9-B 2026年12月8日(火) 10-A 2027年1月18日(月) 10-B 2027年1月19日(火)</p> <p>※1コースずつの受講可</p>	<p>対面型 出光興産訓練安全・技術研修センター</p> <p>12名</p> <p>A/Bコース受講 66,000円/名 AorB1コースのみ 33,000円/名</p>	<p>・企業OB講師 (京葉人材育成会登録講師)</p>	
A2	製造現場トレーナーの育成	<p>自律的な思考・行動能力を育成するため、LEGO®SERIOUS PLAY®メソッドやゲーミングシミュレーションによる実習も取り入れた、短期的な実践教育理論を体得することができます。</p>	<p>・入社4年以上の中級オペレーター ・製造現場のトレーナー</p>	<p>2日連続コース 9:00~16:00（予定）</p> <p>① 2026年7月23日(木)・24日(金) ② 2027年2月25日(木)・26日(金) 追加開催 2026年10月22日(木)・23日(金)</p>	<p>対面型 出光興産訓練安全・技術研修センター※ 千葉工業大学津田沼キャンパス※追加</p> <p>16名</p> <p>全8コマ 51,700円/名</p>	<p>・下田 篤氏 (千葉工業大学教授) ・加藤 和彦氏 (千葉工業大学教授) ・田原 広紀氏 (千葉工業大学教授)</p>	
A3+	プラントの保安と故障の早期発見 回転機器・計装機器のトラブル対応	<p>プラントの故障、劣化の原因について講義、及び、受講生同士の討論を通じて学び、異常の早期発見が出来る設備に強いオペレーターを育成します。この講座では、回転機器・計装機器にテーマを絞ってそのトラブル対応について学習することができます。 ※2025年度から、回転（1日）・計装（1日）の全2日で完結するコースに変更しています。 ※連続開催となっていない日程もあります。 ※1コースずつの受講も可能です。</p>	<p>・入社4年以上の中級オペレーター ・設備部門の初級～中級担当者</p>	<p>回転/計装（各1日）×2日完結コース 10:00~16:00（予定）</p> <p>※以下開催日順に記載 ①1-回転 2026年6月29日(月) ②2-回転 2026年8月4日(火) ③1-計装 2026年8月24日(月) ④2-計装 2026年9月29日(火) ⑤3-回転 2026年9月30日(水) ⑥3-計装 2026年10月20日(月) ⑦4-回転 2026年11月16日(月) ⑧4-計装 2026年11月17日(火) ⑨5-回転 2027年1月25日(月) ⑩5-計装 2027年1月26日(火)</p> <p>※1コースずつの受講可</p>	<p>対面型 出光興産訓練安全・技術研修センター</p> <p>12名</p> <p>回転/計装コース受講 66,000円/名 回転or計装1コースのみ 33,000円/名</p>	<p>・回転機器 三井化学㈱ 技術研修センター 誘役講師 ・計装機器 出光興産㈱千葉事業所 OB講師</p>	
A4	チームリーダーの育成	<p>チームで課題を発見、解決することにより、能動的自己学習、応用力、創造性等を培うための能力を身につけることができます。</p>	<p>・入社11年以上の上級オペレーター ・シフトリーダークラス ・リーダー候補の方</p>	<p>3日連続コース 9:15~16:00（予定）</p> <p>① 2026年9月9日(水)・10日(木)・11日(金) ② 2026年9月16日(水)・17日(木)・18日(金) ③ 2027年2月8日(月)・9日(火)・10日(水) ④ 2027年2月17日(水)・18日(木)・19日(金)</p>	<p>対面型 出光興産訓練安全・技術研修センター</p> <p>16名</p> <p>全12コマ 77,550円/名</p>	<p>・市川 洋子氏 (敬愛大学教授) ・谷山 大太郎氏 (千葉大学特別研究員) ・土田 隆一氏 (敬愛大学教授)</p>	
A4+	円滑なチーム運営力育成講座	<p>人間関係力とコミュニケーション能力を向上することで、自分らしいリーダーシップを身に付けて、円滑なチーム運営に優れたリーダーを育成します。</p>	<p>・入社11年以上の上級オペレーター ・シフトリーダークラス ・リーダー候補の方</p>	<p>1日コース 9:10~16:00（予定）</p> <p>① 2026年5月27日(水) ② 2026年7月1日(水) ③ 2026年10月7日(水) ④ 2026年11月11日(水) ⑤ 2027年1月27日(水)</p>	<p>対面型 出光興産訓練安全・技術研修センター</p> <p>16名</p> <p>全4コマ 25,850円/名</p>	<p>・土田 隆一氏 (敬愛大学教授) ・谷山 大太郎氏 (千葉大学特別研究員)</p>	
A5	製造現場の安全と責任 対面型	<p>企業の社会的責任の認識を深め、非常時や大規模災害時に適切な行動がとれる様な知識の習得をし、討論を交えて、高度な安全体制を築くことが出来るリーダーを養成します。工場長等の安全講話で締めくくります。 ※2026年度も、①②を対面型開催、③④をオンライン開催とします。</p>	<p>・シフトリーダークラス ・職場の安全担当</p>	<p>2日連続コース 9:00~16:00（予定）</p> <p>① 2026年9月7日(月)・8日(火) ② 2026年10月8日(木)・9日(金)</p>	<p>対面型 出光興産訓練安全・技術研修センター</p> <p>12名</p> <p>全9コマ 51,700円/名</p>	<p>・企業OB講師 (京葉人材育成会登録講師)</p>	
	製造現場の安全と責任 オンライン			<p>2日連続コース 9:00~16:00（予定）</p> <p>③ 2026年12月16日(水)・17日(木) ④ 2027年1月21日(木)・22日(金)</p>	<p>on-line(Teams)</p> <p>12名</p> <p>全9コマ 51,700円/名</p>		
S4	これからの安全と現場の管理職の役割	<p>経営者と運転者の中間にあって、多くの業務が集まり決断を迫られる立場にあり、安全の要となる現場の管理職に、今必要とされている化学プラントの安全管理とリスクについて考え、管理職の役割と責任について、理解を深めてもらいます。 企業・業種の壁を越えて集まった現場や安全部門の管理者層が意見交換することで、相互のレベルアップを目指します。 ※1コースずつでも受講できるように構成しています。</p> <p>パート1：製造現場の変化と技術継承 パート2：リスクアセスメントは機能しているか パート3：これからの安全マネジメント パート4：化学プラントと安全文化</p>	<p>・製造現場や安全環境部門等の部長・ライン長クラス、技術スタッフ、管理職の立場の方</p>	<p>半日×4コース 13:00~17:00（予定）</p> <p>①-1 2026年6月2日(火) ①-2 2026年6月9日(火) ①-3 2026年6月16日(火) ①-4 2026年6月23日(火) ②-1 2027年1月26日(火) ②-2 2027年2月2日(火) ②-3 2027年2月16日(火) ②-4 2027年3月2日(火)</p> <p>※1コースずつ受講可</p>	<p>on-line(Teams)</p> <p>15名</p> <p>全4コース 103,400円/名 ※1コース受講の場合 25,850円/名</p>	<p>・中村 昌允氏 (京葉人材育成会名譽会長)</p>	
Sスパシヤル	これからの安全マネジメントを考える会	<p>・石油化学業界は大きな変革期にきています。一つは製造現場の変化です。二つは、カーボンニュートラルなどの社会環境の変化です。一方、従来からの汎用製品では国際競争力で中国やインドに立ち向かえなくなり、Specialty分野の移行が必要になっています。新たな開発技術を安全を確保して製造可能にすること、それが各事業所長に課せられた大きな使命でありその責任があります。 ・そこで問われることは、「経営と安全とのバランス」をどのように考えるかです。経営資源が無限にあるは、すべての事故を無くすることができるかもしれませんが、現実にはそんなことはありません。このバランスをどのように考えるか、日本と欧米との安全に対する考え方の違いも考慮し、これからの安全マネジメントを考えます。 ・コンピュータの石油精製・化学系各企業とのトップ層が、企業・業種の壁を越えて意見交換することで、日本の石油・化学産業の生き残りを考えたいと思います。</p>	<p>・石油・化学産業の事業所長・製油所長、または、副所長・副工場長等 ・安全環境部長、製造部長等役員クラス</p>	<p>半日コース 13:30~16:00（予定）</p> <p>① 2027年2月12日(金)</p>	<p>対面型 出光興産訓練安全・技術研修センター</p> <p>15名</p> <p>全2~3コマ 25,850円/名</p>	<p>・中村 昌允氏 (京葉人材育成会名譽会長)</p>	

※ NA・NSコース/AC(協力会社)コース その1

科目名		概要	対象者	講座日程			講師
No	タイトル			場所	定員/回	受講料	
NA1	製造現場のオペレーターに必要な設備管理講座	<p>・製造現場における保安管理は、運転管理と設備管理の両輪があってこそ成立するが、設備管理業務は、安全・安定運転に向けた業務遂行上極めて重要となり、製造現場のオペレーターには、運転に係るオペレーション技術のみならず設備管理知識が求められています。</p> <p>・本講座では、運転部門の方が必要とされる設備管理知識を学び、設備に強いオペレーターを目指していただきます。</p> <p>・設備管理、保安管理とは何かを理解し、運転部門における設備管理とはどの様に管理すべきか、事例等を踏まえ理解し、現場での設備管理基礎強化に繋がるヒントを探ることを目標とします。</p> <p>・グループ討論を通じて、他社の方々と他社試合・情報共有します。</p> <p>コマ-1: 設備管理と保安管理 設備管理(保安管理)の重要性と運転と保安との関わりについての考え方を理解する。 グループ討論①: 事故事例の検討 エナジープラント工事の火災事故事例について検討する。 コマ-2: 保全業務(検査・工事)の進め方 一般的な保全業務の流れとその流れに沿って運転部門の方がどのように関わっていくかを理解する。 コマ-3: 外面腐食 外面腐食は装置・設備の廃棄まで継続して発生するため日々の点検や不具合状態を放置しないことが大切であること、腐食メカニズムを理解する。 コマ-4: 工事安全確保 工事安全の確保には、工事現場を確保することが重要となる。工事安全確保のポイントを学び、管理所としての工事安全上の責任の重さを理解する。 グループ討論②: 講座のふりかえりと情報交換 本研修のふりかえり、今後現場で取り組んでいきたい事、設備管理で困っている事などを他の受講生と意見交換及び共有する。</p>	<p>製造現場のオペレーター ・製造現場での設備担当、班長クラス ・専門保全の新人～2、3年目</p>	1日コース 9:00~16:00 (予定)	① 2026年6月19日(金) ② 2026年10月16日(金) ③ 2027年1月15日(金)	<p>・高橋 龍五 氏 (出光興産OB)</p>	
				対面型 出光興産安全・技術研修センター	12名		25,850円/名
NA2	生産現場で知っておきたい腐食のしくみとその対策(体験講座)	<p>本講座は腐食・金属材料・防食管理技術に関する基礎知識を修得し、技術レベルの向上を図る事を目的とします。</p> <p>・本講座は、実験・技術相談を講義の中で実施することで、座学では、講師と受講者が双方に対話できる時間を多く取っています。</p> <p>講義時間内で理論を理解し、実験・実習において受講者の方々に体験することにより、学ぶテーマに関して、より理解を深めることができる。また、現場で腐食に関して、困っている事や判らない事があれば講義の中で、できる限り講義します。</p> <p>コマ-1 序論 ・金属材料と腐食の関わり・腐食はなぜ起るのか ・腐食損失・腐食防止の基本原則 コマ-2 腐食のしくみ ・腐食のしくみのあらまし・乾食と湿食(実験) ・不動態とその破壊(実験)・腐食現象の観察(実験) ・腐食現象の観察(実験)・湿食とそのしくみ ・腐食によって流れる電流の観察(実験)・腐食現象の可視化(実験) ・電気化学反応の復習と還元反応への適用 コマ-3 局部腐食と対策 ・局部腐食: 電気異性電池腐食 ・塩化物下の腐食による局部腐食(実験) ・局部腐食: 炭酸基電池腐食・局部腐食: 異種金属接触腐食 ・異種金属接触腐食(実験)・犠牲陽極方式による電気防食(実験) コマ-4 防食法とまとめ ・防食法の体系的考え方・腐食防食技術に取組みための心構え ・質疑応答</p>	<p>生産現場のオペレーター、スタッフ、設備担当、管理者 保全部門のスタッフ、管理者</p>	1日コース 9:00~16:00 (予定)	① 2026年9月28日(月) ② 2027年2月22日(月)	<p>・岡本 守道氏 (朝日ベンチャー・アカデミア代表取締役) ・朝倉 祝治 氏 (横浜国立大学名誉教授、朝日ベンチャー・アカデミア顧問、工学博士)</p>	
				対面型 出光興産安全・技術研修センター	20名		33,000円/名
NA3	dse+社* PSM(プロセス安全管理)講座入門編	<p>dse+社*によるプロセス安全管理システムの入門講座 *dse+社は、テフボンの安全コンサルティング部門が2019年に分離独立した会社です。</p> <p>石油、化学プラントを始めとして製造業の工場や、化学品を取り扱う倉庫などでは、一旦火災や爆発、有毒物質の漏洩などの事故が発生すると、建物・設備や機械が失われるだけでなく、従業員や近隣住民がケガをしたり、最悪の場合にはその事故が原因となって施設が存続できなくなる事となります。</p> <p>本セミナーでは安全なプロセスを維持するためには何をすべきかを学び、過去に発生したプロセス事故を参考に、プロセス安全管理システムについて考えます。</p> <p>コマ1: 進め方の確認、安全対話の紹介と実践 ・dse+社講師から、セミナーの目的、進め方、注意事項等をお伝えする。 安全対話についてご紹介し、その場で実践してみる。 コマ2: プロセス安全管理とは ・プロセス安全管理とは何か、なぜ必要か、を演習も実施しながら理解する。 コマ3: プロセス安全管理の14の要素 ・プロセス安全管理に必要な14の要素について一通り学ぶ。 コマ4: 事故事例から学ぶプロセス安全 ・プロセス安全に関する事故事例を用い、プロセス安全管理要素についての理解を深める。</p>	<p>・運転部門の中核運転員 ・作業責任者、管理的立場の方、運転管理スタッフ ・安全管理部門の安全管理者、安全スタッフ ・設備管理部門でプラント設計・保全担当の管理職、技術者 ・研究開発部門で化学プロセス担当の管理職、研究開発者</p>	1日コース 9:00~16:00 (予定)	① 2026年7月21日(火) ② 2027年3月9日(火)	<p>・dse+社専任講師</p>	
				対面型 出光興産安全・技術研修センター	16名		33,000円/名
NS1	HAZOP(初級コース)オンライン HAZOP(初級コース)対面型	<p>・これからHAZOP手法を使いたい人への教育です。 ・HAZOP手法が事故・トラブル未防止手段の一つとして有効である事を教育します。 ・HAZOP手法を理解し、現場の安全活動の一つとして使えるように教育します。(HAZOPワークショップに参加、その席上で積極的に質問コメントが出来ます) ・実際の事故事例を引用してHAZOPスタディーの有効性を知ることができます。 ※2026年度も、3コースはオンライン開催で、1コースのみ対面型開催とします。</p>	<p>・HAZOP手法の基本を学びたい人</p>	1日コース 9:00~16:00 (予定)	① 2026年4月24日(金) ② 2026年10月26日(月) ③ 2027年1月4日(火) ※講師都合により中止	<p>・上田 邦治 氏 (千代田化工建設)</p>	
				on-line(Teams)	16名		25,850円/名
NS1	HAZOP(リーダーコース)オンライン HAZOP(リーダーコース)対面型	<p>・現在HAZOP検討を行っている方さらなる解析能力向上を図ります。 ・HAZOP手法を会社の安全活動の一つとして定着させるための指導者を輩出することを目指します。 ・既設設備に対するHAZOPリーダーを担える人材を輩出することを目指します。 ・教材として実際に起こった事故事例を活用します。 ※2026年度も、2コースはオンライン開催で、1コースのみ対面型開催とします。</p>	<p>・HAZOP手法を社内で活用する際のリーダー及び次期リーダー候補</p>	2日(1日+1日)コース 9:00~16:00 (予定)	① 2026年5月18日(月)・6月29日(月) ② 2026年12月18日(金)・2027年1月29日(金) ※講師都合により中止	<p>・上田 邦治 氏 (千代田化工建設)</p>	
				on-line(Teams)	16名		51,700円/名
NS2	技術者倫理	<p>技術者の責任とは何か、実際に起こった事例の中での技術者の行動を紹介しながら、技術者倫理とは何かについて、一緒に考えていただきます。</p> <p><第1日> 1. 技術者倫理とは何か (1) 技術者の社会的責任と倫理が問われた背景 (2) 技術者のシレンマ (3) 技術者の説明責任: 化学物質の安全性 2. 技術者と経営者 (1) 技術者の選抜は、それが実用化されて、はじめて評価の対象になる。 具体的な事例からどうすれば技術者の選抜が経営に採用されるか考える。 ～チャレンジジャー号の爆発とシチコープビルの強度検証～ <第2日> 1. 企業不祥事と技術者の責任 事例を紹介し、あなたが当事者なら、どう判断し、行動するかを考える。 2. 技術者にとって最後の手段である内部告発をどう考えるか <第3日> 1. 福島原発事故から何を学ぶか 福島原発事故は私たちが経験した最も大きな事故である。技術者として、この事故から何を学び、今後に生かしていくか。 (1)なぜ、福島第一は致命的事故になったか? (リスク評価方法、致命的事故への備え) (2)あなたが吉田所長であったならば、検閲に対する防潮堤を築いたか? (3)なぜ、日本社会は、緊急事態においても1mSVを求めたのか? 2. どこまで安全を求めるか? ～日本と欧米の安全の考え方の比較～ (1)工学システムの安全目標とリスクベースの安全管理 3. あなたは、日本の製造業の未来にどう貢献するか?</p>	<p>・生産技術系スタッフ、管理者 (工場、会社)安全教育担当</p>	半日×3コース 13:00~16:30 (予定)	①-1 2026年11月5日(木) ①-2 2026年11月12日(木) ①-3 2026年11月19日(木)	<p>・中村 昌久 氏 (東京人材育成協会名誉会長)</p>	
				on-line(Teams)	10名		3コース 77,550円 ※1コース受講の場合 25,850円/コース

科目名		概要	対象者	講座日程			講師		
No	タイトル			場所	定員/回	受講料/名			
NS3	物質安全の基礎	<p>・取り扱い物質の安全に関する基礎知識不足が、事故原因の一つになっています。化学プラント事故事例をもとに、化学物質の安全に関する基礎知識を紹介します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 燃焼の3要素（可燃性物質、支燃物質、着火源） 化学プラントでの爆発・火災事故を考える基本的知識 危ない物質と危険性評価方法 (1)危ない化学物質とは何か (2)物質の分解開始温度： 実際の分解開始温度とDSC測定結果とは差がある。 静電気と粉塵爆発事故 (1)なぜ、静電気が発生するか？ (2)静電気事故事例と防止対策 (3)粉じん爆発事故事例と防止対策 反応暴走と爆発事故 化学プラントは発熱量と除熱量とのバランスが崩れると液相温度が上昇し、その結果、反応速度・分解速度が速くなり、さらに、液相温度が上昇し、速度が速くなる。この状態が続くと、遂には制御不能な反応状態となり、反応暴走に至る。 重大事故で問われた物質安全 実際の重大事故を事例に、物質安全の課題を考える。 化学プラントの安全に大きな影響を与えた事故 化学プラント2大事故（セバリ事故・ポパール事故）を物質安全の立場から考える 	<p>・生産技術系スタッフ、 管理者層 (工場、会社)安全教育 担当</p>	<p>半日コース 13:00~16:30 (予定)</p> <p>2回開催 (予定)</p> <p>① 2026年9月15日(火) ② 2026年11月26日(木)</p>	<p>on-line(Teams)</p>	<p>10名</p>	<p>25,850円/コース</p>	<p>・企業講師 (三井化学㈱)</p>	
				<p>1の対象者 工事協力会社の監督者</p>					<p>半日コース ※開催時間：約3時間の講座 ※開催日程は個別調整</p>
AC 出前 1・2	工事協力会社 安全研修1・2	<p>製造現場や作業場で安全に工事や作業を行うために必要な知識や、安全行動の基本であるKY等、受講者と一緒に学ぶ講座を実施します。 教育内容は受講希望企業と相談の上、以下の項目を組み合わせて3時間程度で実施します。 ※講座のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害事例等を通じて化学プラントにおける工事安全のポイントを学ぶ ・工事を安全に行うための基本的な考え方や基本行動について再確認する <p>※プログラム例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事災害事例の紹介と教訓 (保安防犯事故事例、労働災害事例、怖さを知らせる) ・構内安全基本事項 (走らない、勝手にバルブを触らない、基本保護具、他) ・KY・指差呼称 (KYボードを使った4RKYグループ演習) ・ヒューマンエラー防止 (ビデオ、ゲームの活用) など ・工事安全システム 	<p>2の対象者 工事協力会社の棟芯・作業員</p>	<p>半日コース ※開催時間：約3時間の講座 ※開催日程は個別調整</p>	<p>対面型 申込企業が希望する場所 (出前研修)</p>	<p>10 20名</p>	<p>110,000円/開催</p>	<p>・水野 敏幸氏 (京業人材育成会登録講師)</p>	
				<p>1の対面型 申込企業が希望する場所 (出前研修)</p>	<p>10 20名</p>	<p>110,000円/開催</p>			
AC SA	工事協力会社 トップ層安全教育	<p>化学プラントの安全は、発注者と協力会社との協力がなくして確保できません。 ① 協力会社の労働災害の発生率が、発注者に比較して高い。 ② 協力会社は、危険・有害性の高い作業を担当することが多い。 ③ 協力会社の作業場所は、発注者の事業場内であり、協力会社の自主的な努力のみでは、災害防止の実をあげられない。</p> <ol style="list-style-type: none"> 発注者と関係責任人との関係 発注者の責任 (1)安全な作業環境、施工方法や工期等の条件を揃える。 (2)危険性・有害性の情報提供、協力会社の安全を指導する。 関係責任人の責任 (1)労働者の安全確保は、その労働者を雇用する事業者の事業者責任である。 (2)発注者の安全指導にしたがって作業者の安全を確保する。 製造業元方指針 「一の場所」における統括管理体制 (1)同一の場所において、指揮命令系統の異なる労働者が混在して作業する際の危険防止 (2)元方事業者が、一元的に進捗調整等の安全衛生管理を行う統括管理体制 (3)工事の取組課題・連絡 化学設備の工事等に関して、発注者が講ずべき措置 機械等を使用して作業させる場合の措置 (1)工事等の流れとリスクアセスメント(RA)を用いた安全衛生対策、 工事安全措置のRA、工事施工方法のRA、工事ミーティング (2)関係責任人に課せられる安全措置 安全管理指針と統括責任との関係 安全配慮義務 	<p>・工事協力会社等のトップ層</p>	<p>半日コース 13:30~16:00 (予定)</p> <p>① 2026年9月4日(金)※予定</p>	<p>on-line(Teams)</p>	<p>12名</p>	<p>25,850円/名</p>	<p>・水野 敏幸氏 (水野安全コンサルタント代表)</p>	
				<p>1日コース 9:00~16:00 (予定)</p> <p>② 2026年12月15日(火)※予定</p>					<p>対面型 ※企業研修所等</p>
AC SB	<p>工事発注事業所 安全管理者 安全教育</p> <p>工事発注事業所の 安全部門の 管理者、担当者が 知っておくべき役割</p>	<p>① 協力会社は、危険・有害性の高い作業を担当することが多い。 ② 協力会社の作業場所は、発注者の事業場内であり、協力会社の自主的な努力のみでは、災害防止の実をあげられない。</p> <ol style="list-style-type: none"> 発注者と関係責任人との関係 発注者の責任 (1)安全な作業環境、施工方法や工期等の条件を揃える。 (2)危険性・有害性の情報提供、協力会社の安全を指導する。 関係責任人の責任 (1)労働者の安全確保は、その労働者を雇用する事業者の事業者責任である。 (2)発注者の安全指導にしたがって作業者の安全を確保する。 製造業元方指針 「一の場所」における統括管理体制 (1)同一の場所において、指揮命令系統の異なる労働者が混在して作業する際の危険防止 (2)元方事業者が、一元的に進捗調整等の安全衛生管理を行う統括管理体制 (3)工事の取組課題・連絡 化学設備の工事等に関して、発注者が講ずべき措置 機械等を使用して作業させる場合の措置 (1)工事等の流れとリスクアセスメント(RA)を用いた安全衛生対策、 工事安全措置のRA、工事施工方法のRA、工事ミーティング (2)関係責任人に課せられる安全措置 安全管理指針と統括責任との関係 安全配慮義務 	<p>・工事発注側の工事安全管理責任者</p>	<p>1日コース 9:00~16:00 (予定)</p> <p>② 2026年12月15日(火)※予定</p>	<p>対面型 ※企業研修所等</p>	<p>-</p>	<p>12名</p>	<p>25,850円/名</p>	<p>・水野 敏幸氏 (水野安全コンサルタント代表)</p>

※ NNA・NNS・CR 新規企画開催コース その1

※変更箇所

No	科目名 タイトル	概要	対象者	講座日程			講師
				場所	定員/回	受講料/名	
NNA1	プロセストラブル体験講座	<p>「プラントにおけるトラブル」の模擬体験・目視体験によりプロセスにおけるトラブルの危険性、措置対応力を高めることが出来る講座。過去に発生した重大事例ももろ解きながら、プラントにおける各種トラブル事例、模擬体験設備を活用し、トラブル防止並びに措置対応ができるオペレーター、スタッフを育成します。 ※A/Bコース2コース（2日）完結するコースですが、1日ずつの受講も可能です。</p> <p>Aコース（1日） 過去に発生した重大事例についてひも解く プロセス系トラブル体験（1）(可燃ガス爆発・溶剤火災・粉塵爆発・静電気体験) 電気系トラブル体験(感電・雷鳴) プロセス系トラブル体験（2）(液封・水撃・フラジリング)・（3）(蒸留) ヒューマンファクタートラブル体験（指差呼称の有効性体験）</p> <p>Bコース（1日） 過去に発生した重大事例についてひも解く 動機系トラブル体験（ポンプキャビテーション） 動機系・計装系・トラブル体験(濁流油、計装、調節弁) ヒューマンファクタートラブル体験（VR体験） プロセス系トラブル体験（5）(設伐体験)・（6）(破壁体験)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運転部門の中核運転員 ・作業責任者、管理の立場の方、運転支援スタッフ ・安全管理部門の安全管理者、安全スタッフ他 	<p>A/B（各1日）×2コース 9:00~16:00（予定）</p> <p>①1-A 2026年6月25日(木) ②1-B 2026年6月26日(金) ③2-A 2026年10月1日(木) ④2-B 2026年10月14日(水) ⑤3-A 2027年1月13日(木) ⑥3-B 2027年1月14日(水)</p> <p>※1コースずつの受講も可</p>	<p>対面型 出光興産講堂・技術研修センター</p> <p>12名</p> <p>A/Bコース受講 66,000円/名 AorB1コースのみ 33,000円/名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・京業人材育成会議 ・企業講師 	
		NNA2	化学工学基礎	<p>製造現場業務において化学工学の基礎的知識は必須となります。化学工学についての理解を深め、適切なプラント運転はもちろんなこと、特に非常運転時、トラブル時対応を正しく対応するには、不可欠です。</p> <p>適切な対応が出来るか否かによって、軽度な故障対応で済むか重大な事故故障につながるかが決まります。この講座は、化学工学知識により論理的な判断力を養成することでプロセス管理能力を高めていただくことを目指しています。</p> <p>コマ1：化学工学基礎の基礎 コマ2：流動の基礎 コマ3：流体の基礎 コマ4：熱移動の基礎 コマ5：蒸留</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運転部門の運転員 ・運転支援スタッフ ・その他候補者、推薦者 	<p>1日コース 9:00~16:00（予定）</p> <p>① 2026年5月14日(木) ② 2026年11月20日(金)</p>	<p>対面型 出光興産講堂・技術研修センター</p> <p>12名</p> <p>33,000円/名</p>
NNA5	製造現場に必要なノンテクニカルスキル体験講座	<p>製造現場では、技術的なスキルだけでなく、コミュニケーション、リーダーシップ、問題解決能力などのノンテクニカルスキルも重要で、特に近年これらのスキル不足のより起こっている事故が数多く発生し、行政、団体を含めたこのスキルスキル取得がチームの効率性や安全性を向上させ、全体的な生産性を高めるために不可欠であると認識されています。本講座では、製造現場の従業員がこれらのノンテクニカルスキルを習得し、実践できるような支援を行います。</p> <p>①~④の4コースで完結する講座ですが、1コース毎の受講も可能です。</p> <p>その1 ノンテクニカルスキルの基礎 思い込み防止教育、思い込み防止演習のやり方説明と演習 レゴ組み立て演習、レゴ組み立て演習の振り返りと意見交換 事故事例を題材に演習 まとめ、振り返り、質疑応答</p> <p>その2 きまりを守る大切さ、きまりを守る演習、きまりを守る演習のやり方説明と演習 とっさの行動防止、とっさの行動防止演習、事故事例を題材に演習 まとめ、振り返り、質疑応答</p> <p>その3 注意深く行う教育、注意力演習と注意力の自己判定、行動特性評価の成功への道 動物当てゲーム、動物当てゲームの振り返りと意見交換 事故事例を題材に演習 まとめ、振り返り、質疑応答</p> <p>その4 (1日目) 言い出す勇氣教育、言い出す勇氣演習のやり方説明と演習 言い出す力と傾聴力の自己評価、まとめと振り返り (2日目) 危険取行性と危険感受性について、危険取行性と危険感受性の自己評価 危険取行性と危険感受性の評価事例、危険取行性の演習 まとめ、振り返り</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運転部門のシフトリーダー、副リーダー、管理の立場の方、運転支援スタッフ ・作業責任者、管理の立場の方、運転支援スタッフ ・安全管理部門の安全管理者、安全スタッフ ・保全担当の管理職、技術者 ・その他候補者、推薦者 	<p>1日×3コース 9:00~16:00（予定）</p> <p>① 2026年6月4日(水) ※対面型 ⇒2026年11月10日(火) ※対面型 ② 2026年6月24日(水) ※対面型 ③ 2026年7月22日(水) ※対面型 ⇒2026年11月24日(火) ※対面型</p> <p>④ 2026年7月27日(月)午前・28日(火)午前 ※オンライン ⇒2026年12月8日(火)午前・9日(水)午前 ※オンライン</p> <p>※①~④について、1コースずつの受講も可</p>	<p>対面型 出光興産講堂・技術研修センター※①② 佐賀化学研究所※③④</p> <p>④のみオンライン</p> <p>12名</p> <p>全4コース 132,000円/名 ※1コース受講の場合 33,000円/名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・南川 忠男氏 (南川行動特性研究所代表) 	
		NNS1	事故調査報告書の読み方 ~重大事故から何を学ぶか~	<ul style="list-style-type: none"> ・事故はしばしば起きるわけではありません。まして重大事故に遭遇することは滅多にありません。そこで、他社の事故調査報告書を読むことは、安全担当者にとって貴重な情報源になります。しかし、事故調査報告書を読んでも、直接原因は判っても、事故の背景要因や安全管理上のポイントについては分かりにくいのが実情ではないでしょうか。 ・そこで、事故調査報告書の読み解き方について、日本国内で発生した6つの重大事故調査報告書をもとに、①事故の読み解き方、②その事故の技術者の判断や行動が良かったのか等々について、講師とともに考え、今後の安全管理へ活かしていただきます。 <p>※1コースずつの受講も可能です。ご興味のある項目の受講をご検討ください。</p> <p>各開催回の検討事例※2025年度実施項目 ①塩ビモノマープラント製造設備爆発事故 ②レシリン製造設備爆発事故 ③アクリル酸モノマータンク爆発事故 ④濁流油プラント火災事故 ⑤粉塵爆発事故 ⑥福島第一原発爆発事故</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運転部門、生産技術スタッフ、リーダー層、管理者層 ・安全管理部門の安全管理者、安全スタッフ他 ・研究・技術開発部門の技術者 	<p>半日×6コース 13:00~16:30（予定）</p> <p>① 2026年7月31日(金) ※塩ビモノマープラント製造設備爆発事故 ② 2026年8月4日(火) ※レシリン製造設備爆発事故 ③ 2026年9月1日(火) ※アクリル酸モノマータンク爆発事故 ④ 2026年10月6日(火) ※濁流油プラント火災事故 ⑤ 2026年10月13日(火) ※粉塵爆発事故 ⑥ 2026年12月1日(火) ※福島第一原発爆発事故</p>	<p>on-line(Teams)</p> <p>16名</p> <p>全6コース 155,400円/名 ※1コース受講の場合 25,850円/名</p>
NNS21	リスクアセスメントオンライン	<p>HAZOPは、高圧ガスを取り扱う事業所において、リスクアセスメントの一環として実施するリスク評価手法の一つ。HAZOP安全手法では、特に化学工場や石油精製所など危険物を取り扱う施設で非常に重要とされています。また、高圧ガス認定事業所としての要件としても、法令やガイドラインに定められており、製造事業所にとって必要不可欠な知識とスキルとなっています。しかし、HAZOPだけでは不足であるため、発掘された危険源に対し評価するリスクアセスメント手法講座をあらたに企画し、2025年度から開催しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運転部門の中核運転員 ・作業責任者、管理の立場の方、運転支援スタッフ ・安全管理部門の安全管理者、安全スタッフ ・設備管理部門でプラント設計・保全担当の管理職、技術者 ・研究開発部門で化学プロセス担当の管理職、研究開発者 	<p>2日コース 9:00~16:00（予定）</p> <p>① 2026年8月27日(木)・28日(金)</p>	<p>on-line(Teams)</p> <p>12名</p> <p>66,000円/名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・上田 邦治氏 (千代田化工建設) 	
	リスクアセスメント対面型		<p>2日コース 9:00~16:00（予定）</p> <p>② 2026年12月10日(木)・11日(金)</p>	<p>対面型 出光興産講堂・技術研修センター</p> <p>12名</p> <p>66,000円/名</p>			
NNS3	事故調査の進め方講座	<p>プロセス安全における事故調査は、事故の原因を特定し、再発防止策を講じるために不可欠なスキルです。本講座では、OSHA PSM (RBPS) の事故調査の手法を参考にしながら、事故調査の基本的な進め方及び事故原因分析の手法FTAを学び、実際の現場で適用できるスキルを習得することを目的とし、受講者は、事故調査のプロセスを理解し、効果的な調査を実施するための知識と技術を身につけることで事故の再発防止し、現場の安全性を向上させることが期待されます。※2026年度は、2日コースに変更します。</p> <p>オリエンテーション、自己紹介と研修に臨む思い コマ1：事故調査の計画と準備 コマ2：事故調査のための各ステップ コマ3：事故分析手法FTAの実習 コマ4：事故報告書の要素</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運転部門の中核運転員 ・作業責任者、管理の立場の方、運転支援スタッフ ・安全管理部門の安全管理者、安全スタッフ ・設備管理部門でプラント設計・保全担当の管理職、技術者 ・研究開発部門で化学プロセス担当の管理職、研究開発者(その他候補者、推薦者) 	<p>2日コース 9:00~16:00（予定）</p> <p>① 2026年10月22日(木)・23日(金) ② 2026年12月5日(木)・4日(金)</p>	<p>対面型 出光興産講堂・技術研修センター</p> <p>12名</p> <p>66,000円/名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・竹内 亮氏 (事故分析・コミュニケーションフェロー) 	
NNS4	制御系サイバーセキュリティ体験講座	<p>製造業における制御系サイバーセキュリティは、工場システムのデジタル化に伴うサイバー攻撃のリスク増加や攻撃の高度化に対応するため、特有のセキュリティ対策が求められ、経営者層や経営陣に注目が集まっています。また、サイバー攻撃のリスクも増大しています。特に製造業では、IoTや自動化の進展により、工場システムがインターネットに接続される機会が増加しています。これに伴い、サイバー攻撃のリスクも増大しています。サイバー攻撃は年々高度化・巧妙化しており、特定の工場を狙った標的型攻撃や、無差別な攻撃が発生している。これに対処するためには、製造現場の従業員のセキュリティ意識とスキルの向上が不可欠となります。しかし、現場の運転サイバーは、また生産性向上が逃れにくく、まずはサイバー攻撃のリスクを知り、対応を考えたきつかけをつくる制御系セキュリティ講座として開催しています。</p> <p>講師1：講師サイバーセキュリティ講座の目的 講師2：制御系セキュリティとは 講師3：国内動向・事例紹介 講師4：制御系セキュリティガイドライン説明 演習1：運用設備の説明(ミニプラント、DCS等システム、マニュアル類) 演習2：DCSの操作を習得 演習3：ミニプラント演習 机上演習1：サイバー攻撃が疑われる場合の演習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運転部門の中核運転員 ・作業責任者、管理の立場の方、運転支援スタッフ ・安全管理部門の安全管理者、安全スタッフ ・保全担当の管理職、技術者 ・その他候補者、推薦者 	<p>1日コース 9:00~16:00（予定）</p> <p>① 2026年6月15日(月) ② 2026年10月5日(月)</p>	<p>対面型 出光興産講堂・技術研修センター</p> <p>8名</p> <p>33,000円/名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・企業講師 	

No	科目名 タイトル	概要	対象者	開催日程			講師	
				場所	定員/回	受講料		
NNS5	プロセス安全管理 (PSM) レベルアップ講座	この講座では、この講座では、OSHA PSMを基礎とし、さらにCCPSが提唱するRisk-Based Process Safety (RBPS: リスクに基づくプロセス安全) の考え方を、CCPSフェローがわかりやすく解説します。プロセス安全管理の全体像を体系的に理解し、現場で実践できる高度なプロセス安全手法を習得することを目的としています。プロセス安全の14エレメントやRBPSの4つの柱を中心に、「リスク評価の進め方」、「事故・インシデント防止策の構築」、「変更管理(MOC)」、「重大事故防止に向けた組織的仕組み」、「緊急時対応計画の高度化」といった実務で求められる知識と考え方を、実例を交えて学びます。 1日目 オリエンテーション コマ1: OSHA PSMとRBPS コマ2: プロセス安全情報とPHA コマ3: クイズタイム コマ4: 安全な設備 コマ5: 安全な作業 コマ6: ワークショップ コマ7: 変更管理 コマ8: RBPS特有のエレメント 2日目 コマ9: 安全な工事 コマ10: 協会の安全 コマ11: クイズタイム コマ12: 設備の健全性維持 コマ13: 緊急時対応計画 コマ14: 事故調査 コマ15: ワークショップ コマ16: 従業員の参加 コマ17: 監査 コマ18: 機密保持	* 運転部門の中核運転員 * 作業責任者、管理的立場の方、運転支援スタッフ * 安全管理部門の安全管理者、安全スタッフ * 設備管理部門でプラント設計・保全担当の管理職、技術者 * 研究開発部門で化学プロセス担当の管理職、研究開発者 * その他候補者、推薦者	2日コース 9:00~16:00 (予定) ① 2026年8月5日(水)・6日(木) ② 2027年3月4日(木)・5日(金)	対面型 出光興産安全・技術研修センター	10名	66,000円/名	* 竹内 亮氏 (事故分析・コミュニケーション研究所代表、CCPSフェロー)
				1日コース 9:00~16:00 (予定) ① 2026年11月25日(水) ② 2027年2月24日(水)				
NNA3※新	ヒューマンエラー対応基礎講座~PSMとヒューマンファクターの理解と実践~	* 運転員がヒューマンエラーの発生メカニズムを理解し、OSHA PSMの要素と結びつけて防止策を学ぶ。 * 運転操作(現場操作)・監視・異常対応等におけるヒューマンファクターを改善するための実践スキルを習得。 コマ1: ヒューマンエラーとは何か コマ2: ヒューマンエラー発生メカニズム コマ3: プロセス安全管理(PSM)要素とエラー対応策 コマ4: 誤操作 コマ5: 誤作動 コマ6: 搬送り・異種対応	* 入社4年以上の中級オペレーター * 製造現場のトレーナー * その他	1日コース 9:00~16:00 (予定) ① 2026年11月25日(水) ② 2027年2月24日(水)	対面型 ※企業研修所等	12名	33,000円/名	* 水野 敏幸氏 (水野安全コンサルタント代表)
NNA4※新	製造現場のオペレーターに必要なプロセス安全管理(パフォーマンス管理)	* プロセス運転管理、設備の性能、機能の傾向管理が安全・品質・コストに与える影響を理解し、オペレーターの役割を明確化します。 コマ1: 傾向管理の基本概念 コマ2: 機器性能の最大活用 コマ3: 情報のフィードバックと評価 コマ4: ケーススタディ	* 入社4年以上の中級オペレーター * 製造現場のトレーナー * その他	1日コース 9:00~16:00 (予定) ① 2026年12月2日(水) ② 2027年3月8日(月)	対面型 ※企業研修所等	12名	33,000円/名	* 京葉人材育成会講師
CR出前	企業の要望に応えた出前講座	事業所内での出前講座の要望に応じて、対応可能な講座に関しては調整対応してまいります。 講師資機材等によりすべての講座を出前講座にすることは不可であるが、講座によっては出前講座が可能となるものもありますので、ご要望があればお申し込みください。 (※お申し込みいただきました事業所様と事前に内容・開催時期等、打合せ調整させていただきます) ※科目NNA3・NNA4については、CR出前に対応いたします。	企業要望に応じた対象者	都度対応	対面型・オンライン 申込企業が希望する場所(出前研修)	12~16名	都度調整 ※通常講座受講料に準ずる	* 京葉人材育成会講師 * 企業講師
CR/旧NNA3	フランジ締結管理講座	※2026年度はCR出前講座として対応します。 製造現場におけるフランジ締結作業は、設備の安全性と信頼性を確保するために非常に重要です。適切なフランジ締結管理を行うことで、漏れや事故を防止し、設備の長寿命化を図ることができます。本講座では、明治製のOD-BOLVISシステムを活用し、フランジ締結作業に必要知識を習得し、現場での実践力を高めることを目的としています。 また、協会の社員は、自社内での教育は業務上不可欠であることより教育が確実に実施されているが、製造現場の従業員までの教育には至っていない状況踏まえ、京葉人材育成会として、京葉臨海コンビナート地区の従業員並びに協会会社向けに特別教育を開催します。 コマ1 講座目的と概要、フランジ締結の基本概念と重要性、法規制とガイドライン コマ2 フランジ締結の基本技術と実践訓練	* 運転部門の運転員 * 作業責任者、管理的立場の方、運転支援スタッフ * 安全管理部門の安全管理者、安全スタッフ * 保全担当の管理職、技術者 * その他候補者、推薦者	半日コース 午前: 9:00~12:00 午後: 13:00~16:00 ご希望に応じて都度調整します	対面型 ※会場都度調整	8名	33,000円/名	* 企業講師
CR/旧NNA4	塵埃防止用器具特別教育講座	※2026年度はCR出前講座として対応します。 建設業等の高所作業において使用されるフルハーネス型安全帯は、墜落時に内蔵の損傷や胸部等危険性が指摘されており、フルハーネス型安全帯が採用されました。(2019.1.25) また、名称も「塵埃防止用器具」に改められ使用するには特別教育が厚生労働省より義務付けられました。今までのフルハーネス型安全帯の使用の過半数が2022年1月末までであり、翌2月1日より運用が開始されています。 特に、協会会社社員は、自社内での教育は業務上不可欠であることより教育が確実に実施されていますが、製造現場の従業員までの教育には至っていない状況踏まえ、京葉人材育成会として、京葉臨海コンビナート地区の従業員並びに協会会社向けに特別教育を開催します。 コマ1 作業に関する知識 コマ2 塵埃防止用器具(フルハーネス型のものに限る。以下同じ。)に関する知識 コマ3 岩盤崩壊の防止に関する知識 コマ4 関係法令 コマ5 塵埃防止用器具の使用法等	* 運転部門の運転員 * 作業責任者、管理的立場の方、運転支援スタッフ * 安全管理部門の安全管理者、安全スタッフ * 保全担当の管理職、技術者 * その他候補者、推薦者	1日コース 9:00~16:00 (予定) ご希望に応じて都度調整します	対面型 ※会場都度調整	12名	8,800円/名	* 企業講師
NNS13	バッチ系HAZOP実践コース	この講座では、バッチプロセスにおける一連の操作を対象に、工程の非常性を踏まえたHAZOPの進め方を体系的に学習します。 まず、バッチ工程の特徴として、仕込み、反応、抜き取り、洗浄といった段階ごとに異なるリスクが発生する点を理解します。そのうえで、プロセスの分割方法(ステップ分割・操作分割)、ガイドワードの正しい使い方、典型的な過誤例(過反応、過濃度、混合順序誤りなど)を把握します。 さらに、実際のバッチ工程をモデルとした模擬HAZOP演習を行い、リスク抽出、原因分析、結果評価、対策立案を実践します。バッチプロセスならではの視点を取り入れ、現場で活かせる実践レベルの分析力を強化する構成としています。 受講者には、バッチ特有のリスク概念を理解し、工程ごとの潜在的過誤をHAZOP手法によって的確に抽出・評価する能力を身につけてもらい、また、チームでのHAZOPセッション運営に必要なファシリテーション能力や、改善策の整理・文書化の方法も習得し、現場での即戦力となることを目指します。	* 運転部門の中核運転員 * 作業責任者、管理的立場の方、運転支援スタッフ * 安全管理部門の安全管理者、安全スタッフ * 設備管理部門でプラント設計・保全担当の管理職、技術者 * 研究開発部門で化学プロセス担当の管理職、研究開発者 (その他候補者、推薦者)	1日コース 9:00~16:00 (予定) ① 2026年12月18日(金) ※予定	対面型 ※企業研修所等	12名	33,000円/名	* 上田 邦治氏 (千代田化工建設)
NNS14	ESD(緊急停止)HAZOP実践コース	この講座では、緊急遮断システム(ESD: Emergency Shutdown System)の安全機能が確実に発揮されるかを体系的に評価できる技術者を育成することを目的としています。 ESDシステムが「適切な時に」「確実に」動作するかを評価するための体系的アプローチとしてESD HAZOPを学習します。まず、ESDの基本構成、ロジック設計の考え方、O&E(Cause & Effect)チャートの読み方を理解します。そのうえで、誤動作、未作動、遅延作動、制御動作などの代表的な失敗モードを整理し、それぞれがどのような事故につながるかを分析します。続いて、模擬ロジックを用いたESD HAZOP演習を行います。想定外シナリオの抽出、対策案の検討、改善アクションの文書化などを体系的に習得します。これにより、受講者が実際のプラントにおける安全計装システムの改善に直接寄与できるスキルを身につけることを目指します。	* 運転部門の中核運転員 * 作業責任者、管理的立場の方、運転支援スタッフ * 安全管理部門の安全管理者、安全スタッフ * 設備管理部門でプラント設計・保全担当の管理職、技術者 * 研究開発部門で化学プロセス担当の管理職、研究開発者 (その他候補者、推薦者)	1日コース 9:00~16:00 (予定) ① 2027年1月29日(金) ※予定	対面型 ※企業研修所等	12名	33,000円/名	* 上田 邦治氏 (千代田化工建設)
NNS6	変更管理(MOC)実践講座	この講座は、プロセス安全管理(PSM)の重要要素である変更管理(MOC)に焦点を当て、企業の現場で確実に運用できる高度なMOC研修を企画するものです。 MOCは多くの重大事故の防止に寄与する重要なプロセスであり、変更の特定、リスク評価、承認、文書化、周知・教育などを体系的に習得することを目的とします。 受講者が「何が変更かを正しく識別できる能力」「変更がリスクに与える影響を評価し管理する能力」「変更手順を確実に運用する実践スキル」を身につけることを目的とし、特にCCPSが提示するMOCの基本原則に基づき、事故防止・安全確保に直結する実践力を強化します。 変更管理に関する最新のベストプラクティスと実務に直結する手法を学び、変更の分類、リスクアセスメント、変更手順の構築・運用、緊急MOC、周知・教育方法などを体系的に整理します。グループ討論、ケーススタディ、実際の現場を想定した演習を通じて、即戦力となるスキルを習得できます。	* 運転部門の中核運転員 * 作業責任者、管理的立場の方、運転支援スタッフ * 安全管理部門の安全管理者、安全スタッフ * 設備管理部門でプラント設計・保全担当の管理職、技術者 * 研究開発部門で化学プロセス担当の管理職、研究開発者 * その他候補者、推薦者	1日コース 9:00~16:00 (予定) ① 2027年1月20日(水) ※予定	対面型 ※企業研修所等	12名	33,000円/名	* 水野 敏幸氏 (水野安全コンサルタント代表)